

## 人が人を支えるということ…

T氏は今年2月に長年連れ添った妻をケアホーム希望のスタッフと一緒に看取った。「俺も一緒に死にたい」と家族を困らせ、妻の葬儀で住職から「あなたがいつまでも悲しんでいると故人が成仏できない」と、叱られた。ケアホーム希望のスタッフにも支えられながら、ふらつく足取りで週3回の「通い」のサービスを再開した。

寂しがり屋の100歳のNばあさんの話し相手になったり認知症で「朝からなんで私がここに来なきゃいけないのよ！何も食べたくもない！」と、泣きわめくHさんには優しくうなずき、「大丈夫だよ」の一言は、精神安定剤を飲ませるより落ち着かせることができる。

おじさん  
今日も私と一緒に  
帰るんだからね！

T氏は、利用者の細かいことまで覚えていて、「この人は果物が好きで、果物だとよく食べるよ」など。

更に、94歳で一人暮らしのMばあさんは「あの おじさんと私は いつも一緒に帰るんだよ」と、モテモテのT氏…

T氏が通って来る日はいつも なぜだか利用者は落ち着いている。

みんながいるから  
心配ないよ

T氏の妻は大病をし、大学病院に入退院を繰り返し、治療のためだと身体を抑制され、大声を出す度にたくさんの薬を飲み、認知症が悪化すると個室に入れられることもあった。退院して足腰が弱り、夜も眠らず カギの掛かる精神科にも入院した…

そんな辛い妻の介護経験もあり、T氏は人の痛みや苦しみ、家族の介護の大変さを誰よりも身に沁みて理解しているからこそ、自然とできているのかもしれない。

ケアスタッフが専門職として関わるケアより、利用者同士が共に支え合い、助け合うこと、それこそが“人が人を支える”ということなのだと思う。

いくつになっても、その人の存在には意味があり、一人一人に“役割”がある。その役割があるからこそイキイキと生きる糧になっている…のだとも思う…。

それは… きっと… 天国から愛する妻が教えてくれたこと？…

感謝

# あの頃私も若かった…

Part 2

先月号に引き続き…  
あの頃の私の写真

私 昔から…  
変わってないでしょ？！

息子のことがいくつになっても心配なんだよ

優しいお母さんだった

男前だろ？

いつまでも変わらない愛だよ

今月 おじいちゃん似の曾孫が生まれたよ！

あの頃は…大きくなったらビートルズになろうと思っていたんだよ

## 山内ぶどう園へ ぶどう狩りに！

今年もみなさんぶどう狩り、秋には柿もぎに来てくださいね！

このぶどうは息子にも食べさせたいね！

【山内ぶどう園 お問い合わせ】

### 山内ぶどう園

調布のぶどうもぎ取り園

東京都調布市若葉町3-28-7

Tel : 03-3300-5741

立派な大きいぶどうね！

ぶどう狩りの次は柿もぎだね！

昨年の柿もぎの様子